

資料

令和3年地価公示について

# 目 次

1	地価公示制度の概要	1
2	三重県の令和3年地価公示の実施状況	2
3	令和3年地価公示の概要（国土交通省 不動産・建設経済局資料）	4
4	三重県の地価動向について	6
(1)	概 況	6
(2)	全国及び近接県との比較	9
(3)	地域別・市町別・用途別平均価格及び変動率	13
(4)	価格順位表（住宅地）	14
(5)	価格順位表（商業地）	15
(6)	価格順位表（工業地）	16
(7)	プラス変動率順位表（住宅地）	17
(8)	プラス変動率順位表（商業地）	20
(9)	プラス変動率順位表（工業地）	21
(10)	マイナス変動率順位表（住宅地）	22
(11)	マイナス変動率順位表（商業地）	23
(12)	マイナス変動率順位表（工業地）	24
	(資料)	
	地価調査の基準地と同一地点である標準地一覧	25

## 1 地価公示制度の概要

地価公示は、国土交通省土地鑑定委員会が毎年1回標準地の正常な価格を公示し、一般の土地取引価格に対して指標を与えるとともに、公共事業用地の取得価格算定の規準とされている。また、国土利用計画法に基づく土地取引の規制では、土地価格算定の規準とされる等により、適正な地価の形成に寄与することを目的としている。

### (1) 対象区域（公示区域）

地価公示は、「都市計画区域その他の土地取引が相当程度見込まれるものとして国土交通省令で定める区域（国土利用計画法（昭和49年法律第92号）第12条第1項の規定により指定された規制区域を除く。）」において実施することとされている（地価公示法（昭和44年法律第49号）第2条第1項）。

### (2) 価格の判定

公示されるのは、毎年1月1日における標準地の1㎡当たりの正常な価格である。

※ 「正常な価格」とは、市場性を有する不動産について、合理的な市場で形成されるであろう市場価値を適正に表示する価格、即ち、売り手にも買い手にもかたよらない客観的な価値を表したものである。

表1 地価公示・地価調査制度比較表（参考）

区分	地価公示制度	地価調査制度
目的	選定された標準地の正常価格を公示することにより、一般の土地取引価格に対し指標を与え、また公共事業用地の取得価格算定の規準とされる等、適正な地価の形成に寄与する。	地価公示制度の拡充整備と国土利用計画法の円滑な施行を図る。
根拠法令	地価公示法	国土利用計画法施行令第9条
評価時点	毎年1月1日	毎年7月1日
公示日	3月24日（令和3年）	9月30日（令和2年）
対象区域	都市計画区域その他の土地取引が相当程度見込まれるものとして国土交通省令で定める区域 （地価公示法第2条第1項）	県内全域
実施主体	国土交通省土地鑑定委員会	都道府県知事
地点の名称	標準地	基準地

2 三重県の令和3年地価公示の実施状況

(1) 地価公示対象市町は25市町(14市11町)あり、標準地設定数は432地点である。

表2 地価公示対象市町及び標準地数一覧表

市名	地点数	郡名	町名	地点数
津市	68	桑名郡	木曾岬町	3
四日市市	101	員弁郡	東員町	5
伊勢市	18	三重郡	菰野町	7
松阪市	32		朝日町	4
桑名市	49		川越町	5
鈴鹿市	43	多気郡	多気町	2
名張市	7		明和町	4
尾鷲市	5	度会郡	玉城町	3
亀山市	8		南伊勢町	3
鳥羽市	5	北牟婁郡	紀北町	2
熊野市	5	南牟婁郡	御浜町	2
いなべ市	9			
志摩市	12			
伊賀市	28			
市計	390	町計		40
小計		430		
林地		2		
合計		432		

(2) 用途別の標準地設定数は次のとおりである。

表3 用途別標準地数

※( )書きは継続地点数

区分	住宅地	宅地 見込地	商業地	工業地	林地	合計
2年	293	3	110	24	2	432
3年	293 (291)	3 (2)	110 (107)	24 (24)	2 (2)	432 (426)

### (3) 価格の判定

各標準地について、2名の不動産鑑定士が鑑定評価を行い、その結果を国土交通省土地鑑定委員会が審査調整して判定。

なお、県内の標準地については、37名の不動産鑑定士が鑑定評価に従事した。

代 表 幹 事 片岡 浩司 (株式会社片岡不動産鑑定)  
〒514-0008 津市上浜町五丁目1番地92  
TEL 059(221)1212

第1分科会幹事 瀬古 博之 (マルセ産業株式会社)  
〒510-0018 四日市市白須賀1丁目11番26号  
TEL 059(331)8123

第2分科会幹事 代表幹事に同じ

第3分科会幹事 磯部 雄一 (株式会社三交不動産鑑定所本部)  
〒514-0033 津市丸之内9番18号 津丸の内ビル6階  
TEL 059(226)4611

分科会名	分科会幹事名	区 域
三重 第1 14名	瀬古 博之	四日市市、桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町
三重 第2 13名	片岡 浩司	津市、鈴鹿市、名張市、亀山市、伊賀市
三重 第3 10名	磯部 雄一	伊勢市、松阪市、尾鷲市、鳥羽市、熊野市、志摩市、多気町、明和町、玉城町、南伊勢町、紀北町、御浜町

### 3 令和3年地価公示の概要

令和3年3月  
国土交通省 不動産・建設経済局  
地価調査課作成資料の抜粋

令和2年1月以降の1年間の地価について

- 全国平均では、住宅地は5年ぶり、商業地は7年ぶりに下落に転じ、工業地は5年連続の上昇となったが、率は縮小した。
- 三大都市圏をみると、住宅地、商業地ともに8年ぶりの下落となり、工業地は7年連続の上昇となったが、率は縮小した。
- 地方圏をみると、住宅地は3年ぶり、商業地は4年ぶりに下落に転じ、工業地は4年連続の上昇となったが、率は縮小した。

#### (1) 地価変動率の推移

(単位:%)

	住宅地					商業地				
	29公示	30公示	31公示	2公示	3公示	29公示	30公示	31公示	2公示	3公示
全国	0.0	0.3	0.6	0.8	▲ 0.4	1.4	1.9	2.8	3.1	▲ 0.8
三大都市圏	0.5	0.7	1.0	1.1	▲ 0.6	3.3	3.9	5.1	5.4	▲ 1.3
東京圏	0.7	1.0	1.3	1.4	▲ 0.5	3.1	3.7	4.7	5.2	▲ 1.0
大阪圏	0.0	0.1	0.3	0.4	▲ 0.5	4.1	4.7	6.4	6.9	▲ 1.8
名古屋圏	0.6	0.8	1.2	1.1	▲ 1.0	2.5	3.3	4.7	4.1	▲ 1.7
地方圏	▲ 0.4	▲ 0.1	0.2	0.5	▲ 0.3	▲ 0.5	0.5	1.0	1.5	▲ 0.5
三重県	▲ 1.6	▲ 1.4	▲ 1.0	▲ 0.7	▲ 1.1	▲ 1.5	▲ 1.3	▲ 0.8	▲ 0.4	▲ 1.2

	工業地					全用途				
	29公示	30公示	31公示	2公示	3公示	29公示	30公示	31公示	2公示	3公示
全国	0.3	0.8	1.3	1.8	0.8	0.4	0.7	1.2	1.4	▲ 0.5
三大都市圏	1.0	1.5	1.9	2.4	1.0	1.1	1.5	2.0	2.1	▲ 0.7
東京圏	1.8	2.3	2.4	3.0	2.0	1.3	1.7	2.2	2.3	▲ 0.5
大阪圏	0.6	1.3	2.0	2.8	0.6	0.9	1.1	1.6	1.8	▲ 0.7
名古屋圏	0.1	0.2	0.6	0.7	▲ 0.6	1.1	1.4	2.1	1.9	▲ 1.1
地方圏	▲ 0.4	0.2	0.8	1.1	0.5	▲ 0.3	0.0	0.4	0.8	▲ 0.3
三重県	▲ 1.8	▲ 1.3	▲ 0.7	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 1.7	▲ 1.4	▲ 1.0	▲ 0.6	▲ 1.1

#### (2) 半年毎の地価変動率の推移

	住宅地				商業地			
	2年公示		3年公示		2年公示		3年公示	
	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半
全国	0.8	0.8	▲ 0.4	0.2	2.3	2.5	▲ 1.4	0.0
三大都市圏	0.7	0.7	▲ 0.6	0.1	3.2	3.3	▲ 1.9	0.0
東京圏	0.9	0.8	▲ 0.6	0.1	2.8	3.1	▲ 1.5	0.0
大阪圏	0.4	0.4	▲ 0.4	0.0	4.9	4.7	▲ 2.2	▲ 0.6
名古屋圏	0.7	0.9	▲ 1.2	0.3	1.9	2.0	▲ 2.6	0.9
地方圏	0.8	0.9	▲ 0.1	0.3	1.3	1.5	▲ 0.7	0.0
三重県	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.6	▲ 0.4	0.0	0.1	▲ 0.6	▲ 0.5

※ 都道府県地価調査（毎年7月1日時点実施）との共通地点での集計である。

※ 3年公示前半：R元. 1. 1～R 2. 7. 1の変動率      3年公示後半：R 2. 7. 1～R 3. 1. 1の変動率

(3) 上昇・横ばい・下落の地点数の推移

(単位:地点)

		住宅地			商業地			全用途		
		上昇	横ばい	下落	上昇	横ばい	下落	上昇	横ばい	下落
全国	3年公示	3,473 (19%)	4,197 (23%)	10,496 (58%)	1,090 (17%)	1,240 (19%)	4,081 (64%)	4,963 (19%)	5,771 (22%)	14,959 (58%)
	2年公示	8,041 (44%)	3,749 (21%)	6,376 (35%)	3,751 (59%)	971 (15%)	1,683 (26%)	12,445 (48%)	5,014 (20%)	8,216 (32%)
	31年公示	7,576 (42%)	3,756 (21%)	6,714 (37%)	3,531 (56%)	1,006 (16%)	1,789 (28%)	11,683 (46%)	5,068 (20%)	8,715 (34%)
三大都市圏	3年公示	1,172 (13%)	2,333 (27%)	5,287 (60%)	319 (12%)	543 (20%)	1,882 (69%)	1,734 (14%)	3,014 (25%)	7,320 (61%)
	2年公示	4,770 (54%)	2,000 (23%)	1,998 (23%)	2,289 (84%)	285 (10%)	158 (6%)	7,461 (62%)	2,384 (20%)	2,182 (18%)
	31年公示	4,608 (53%)	2,045 (23%)	2,059 (24%)	2,225 (82%)	316 (12%)	170 (6%)	7,197 (60%)	2,475 (21%)	2,269 (19%)
東京圏	3年公示	847 (17%)	1,155 (23%)	2,969 (60%)	243 (15%)	280 (18%)	1,073 (67%)	1,252 (18%)	1,488 (22%)	4,066 (60%)
	2年公示	2,892 (58%)	1,065 (22%)	995 (20%)	1,365 (86%)	127 (8%)	90 (6%)	4,455 (66%)	1,224 (18%)	1,092 (16%)
	31年公示	2,883 (59%)	1,024 (21%)	1,012 (21%)	1,356 (86%)	132 (8%)	91 (6%)	4,424 (66%)	1,193 (18%)	1,114 (17%)
大阪圏	3年公示	289 (11%)	977 (39%)	1,253 (50%)	74 (11%)	234 (35%)	363 (54%)	439 (13%)	1,280 (38%)	1,662 (49%)
	2年公示	990 (39%)	710 (28%)	813 (32%)	546 (81%)	87 (13%)	37 (6%)	1,673 (50%)	836 (25%)	861 (26%)
	31年公示	881 (35%)	781 (31%)	845 (34%)	519 (78%)	102 (15%)	42 (6%)	1,523 (45%)	933 (28%)	899 (27%)
名古屋圏	3年公示	36 (3%)	201 (15%)	1,065 (82%)	2 (0%)	29 (6%)	446 (94%)	43 (2%)	246 (13%)	1,592 (85%)
	2年公示	888 (68%)	225 (17%)	190 (15%)	378 (79%)	71 (15%)	31 (6%)	1,333 (71%)	324 (17%)	229 (12%)
	31年公示	844 (66%)	240 (19%)	202 (16%)	350 (75%)	82 (17%)	37 (8%)	1,250 (67%)	349 (19%)	256 (14%)
地方圏	3年公示	2,301 (25%)	1,864 (20%)	5,209 (56%)	771 (21%)	697 (19%)	2,199 (60%)	3,229 (24%)	2,757 (20%)	7,639 (56%)
	2年公示	3,271 (35%)	1,749 (19%)	4,378 (47%)	1,462 (40%)	686 (19%)	1,525 (42%)	4,984 (37%)	2,630 (19%)	6,034 (44%)
	31年公示	2,968 (32%)	1,711 (18%)	4,655 (50%)	1,306 (36%)	690 (19%)	1,619 (45%)	4,486 (33%)	2,593 (19%)	6,446 (48%)
三重県	3年公示	0 (0%)	47 (16%)	244 (84%)	0 (0%)	5 (5%)	102 (95%)	0 (0%)	53 (13%)	371 (88%)
	2年公示	80 (27%)	41 (14%)	170 (58%)	38 (35%)	15 (14%)	57 (52%)	124 (29%)	68 (16%)	236 (55%)
	31年公示	56 (19%)	43 (15%)	192 (66%)	29 (27%)	18 (17%)	60 (56%)	85 (20%)	70 (16%)	270 (64%)

※「三大都市圏」とは、東京圏、大阪圏、名古屋圏をいう。

「東京圏」とは、首都圏整備法による既成市街地及び近郊整備地帯を含む市区町の区域をいう。

「大阪圏」とは、近畿圏整備法による既成都市区域及び近郊整備区域を含む市町村の区域をいう。

「名古屋圏」とは、中部圏開発整備法による都市整備区域を含む市町村の区域をいう。

「地方圏」とは、三大都市圏を除く地域をいう。

#### 4 三重県の地価動向について

##### (1) 概況

###### ア 用途別平均変動率

全用途では▲1.1%（前年▲0.6%）と下落率は前年より大きくなった。

住宅地では▲1.1%（前年▲0.7%）、商業地では▲1.2%（前年▲0.4%）となり、住宅地、商業地とも平成5年から29年連続の下落となった。

工業地では▲0.6%（前年▲0.2%）となり、平成6年から28年連続の下落となった。

今回の地価公示では、すべての用途で下落率が前年より大きくなった。（表4）

表4 三重県の用途別対前年平均変動率 ※（ ）は令和2年平均変動率

区 分	住宅地	宅地見込地	商業地	工業地	全用途
平均変動率	▲1.1	▲1.7	▲1.2	▲0.6	▲1.1
(%)	(▲0.7)	(▲1.0)	(▲0.4)	(▲0.2)	(▲0.6)

###### イ 住宅地

県平均変動率▲1.1%（前年▲0.7%）に対して、紀北町▲3.1%（前年▲2.4%）をはじめ、木曾岬町▲3.0%（前年▲2.9%）、尾鷲市▲2.8%（前年▲2.1%）、鳥羽市▲2.7%（前年▲2.4%）、南伊勢町▲2.5%（前年▲2.4%）、名張市▲2.3%（前年▲2.0%）、伊賀市▲2.3%（前年▲2.0%）、熊野市▲2.2%（前年▲2.2%）、志摩市▲2.2%（前年▲2.0%）、御浜町▲2.2%（前年▲2.1%）、が大きな下落率を示した。

継続地点291地点のうち上昇地点はなく（前年80地点）、244地点（前年170地点）で下落し、横ばい（変動率ゼロ）地点が47地点（前年41地点）となった。

横ばい47地点は、津市の11地点（津-1 観音寺町 等）、四日市市の16地点（四日市-1 城東町 等）、桑名市の12地点（桑名-2 大字桑名 等）、鈴鹿市の6地点（鈴鹿-5 平田東町 等）、朝日町の1地点（三重朝日-4 白梅の丘東2丁目）、川越町の1地点（三重川越-3 大字北福崎）である。

桑名市、四日市市、津市では、宅地需要がこれまで比較的堅調であった高台地や最寄り駅に近い等の居住環境のよい住宅地を中心に、上昇傾向は止まったものの、市場は様子見的な動きで大きな地価下落までには至っておらず、横ばい又は若干の下落にとどまり、新型コロナウイルスの影響は限定的となっている。

また、鈴鹿市では、地域経済を支える自動車産業への新型コロナウイルスの影響により、経済面での先行き不透明感の高まりから住宅取得意欲も後退し、横ばいから下落に転じた地点も目立った。南勢、東紀州方面は、近年、下落幅は全体的に縮小傾向がつづき、利便性の高いエリア等を中心に底打ち感も出てきていたが、新型コロナウイルスの影響で改善傾向は後退している。

一方で、震災による津波懸念から引き続き沿岸部を中心に宅地需要の低迷が続い



ており、都市部でも地価の下落が大きな地点が見られた。(津-4 津興 等)

#### ウ 商業地

県平均変動率▲1.2%(前年▲0.4%)に対して、尾鷲市▲2.9%(前年▲2.5%)をはじめ、志摩市▲2.8%(前年▲2.7%)、鳥羽市▲2.7%(前年▲2.2%)、熊野市▲2.6%(前年▲2.5%)、南伊勢町▲2.5%(前年▲2.8%)、伊賀市▲2.4%(前年▲2.2%)、明和町▲2.4%(前年▲2.1%)、名張市▲2.1%(前年▲2.4%)、が大きな下落率を示した。

継続地点 107 地点のうち上昇地点はなく(前年 38 地点)、102 地点(前年 57 地点)で下落し、横ばい(変動率ゼロ)地点が 5 地点(前年 15 地点)となった。

横ばい 5 地点は四日市市の 2 地点(四日市 5-1 諏訪栄町 等)、伊勢市の 2 地点(伊勢 5-2 本町 等)、桑名市の 1 地点(桑名 5-1 末広町)である。

近鉄四日市駅、桑名駅前や津駅を中心とする商業地域では、新型コロナの影響で店舗等への投資マインドの低下、マンション開発素地需要の軟化等の懸念によって需要者が市況を見極めようとする姿勢が続いており、これまでの上昇傾向は後退している。

また、伊勢神宮内宮・外宮に近い商業地(伊勢 5-3 宇治今在家町、伊勢 5-2 本町)については、新型コロナの影響で参拝者数の大幅な減少により売上も大きく低下し、これまでの上昇傾向は後退したものの、高い集客性から潜在的需要が強いため地価下落には至っておらず、新型コロナの影響は限定的と考えられる。

なお、南勢、東紀州方面の商業地は、近年、下落幅は全体的に縮小傾向が続き、繁華性の高いエリア等を中心に底打ち感も出てきていたが、新型コロナの影響で改善傾向は後退している。

#### エ 工業地

県平均変動率▲0.6%(前年▲0.2%)に対して、松阪市▲1.4%(前年▲1.3%)をはじめ、津市▲1.0%(前年▲0.9%)、伊賀市▲0.9%(前年▲0.9%)が大きな下落率を示した。

継続地点 24 地点のうち上昇地点はなく(前年 6 地点)、23 地点(前年 7 地点)で下落し、横ばい(変動率ゼロ)が 1 地点(前年 11 地点)となった。

横ばい地点は、津市の 1 地点(津 9-3 新家町)である。

今回、新型コロナの影響で地価下落が目立った地域は市街地、臨海部方面の製造業関係の工業地域である。

また、高速道路の開通(平成 31 年 3 月の新名神の供用開始)をはじめとした道路整備により、名古屋・大阪方面へのアクセスが向上した内陸部の高速道インター周辺エリアでは、物流施設の需要は堅調で地価は下落までには至らず横ばいを維持している。

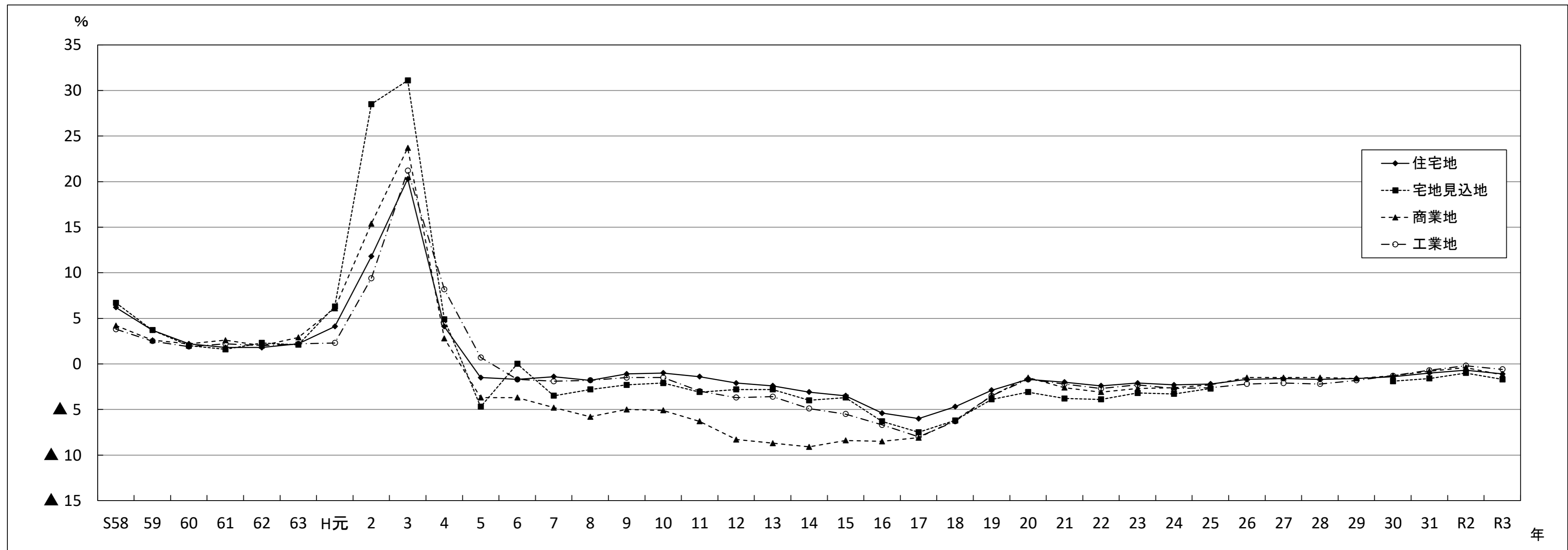
表5 三重県地価公示用途別平均価格及び変動率

区分	住宅地	宅地見込地	商業地	工業地
地点数 (地点)	293	3	110	24
平均価格 (円/㎡)	38,000	11,900	69,000	22,100
平均変動率 (%)	▲ 1.1	▲ 1.7	▲ 1.2	▲ 0.6

表6 三重県の用途別対前年平均変動率の推移

	S58	59	60	61	62	63	H元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	R2	R3
住宅地	6.2	3.7	2.2	1.8	1.8	2.2	4.1	11.8	20.3	4.1	▲ 1.5	▲ 1.7	▲ 1.4	▲ 1.8	▲ 1.1	▲ 1.0	▲ 1.4	▲ 2.1	▲ 2.4	▲ 3.1	▲ 3.5	▲ 5.4	▲ 6.0	▲ 4.7	▲ 2.9	▲ 1.7	▲ 2.0	▲ 2.4	▲ 2.1	▲ 2.3	▲ 2.2	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 1.4	▲ 1.0	▲ 0.7	▲ 1.1
宅地見込地	6.7	3.7	2.0	1.6	2.3	2.1	6.3	28.5	31.1	4.9	▲ 4.7	0.0	▲ 3.5	▲ 2.8	▲ 2.3	▲ 2.1	▲ 3.1	▲ 2.8	▲ 2.8	▲ 4.0	▲ 3.7	▲ 6.3	▲ 7.5	▲ 6.2	▲ 3.9	▲ 3.1	▲ 3.8	▲ 3.9	▲ 3.2	▲ 3.3	▲ 2.7	▲ 2.7	▲ 2.7	▲ 2.7	▲ 1.9	▲ 1.6	▲ 1.0	▲ 1.7	
商業地	4.2	2.6	2.2	2.6	2.0	2.9	6.1	15.4	23.7	2.8	▲ 3.7	▲ 3.7	▲ 4.8	▲ 5.8	▲ 5.0	▲ 5.1	▲ 6.3	▲ 8.3	▲ 8.7	▲ 9.1	▲ 8.4	▲ 8.5	▲ 8.1	▲ 6.2	▲ 3.5	▲ 1.5	▲ 2.6	▲ 3.1	▲ 2.7	▲ 2.6	▲ 2.3	▲ 1.5	▲ 1.5	▲ 1.5	▲ 1.6	▲ 1.3	▲ 0.8	▲ 0.4	▲ 1.2
工業地	3.8	2.5	1.9	2.2	2.0	2.2	2.3	9.4	21.2	8.2	0.7	▲ 1.7	▲ 1.9	▲ 1.8	▲ 1.5	▲ 1.5	▲ 3.0	▲ 3.7	▲ 3.6	▲ 4.9	▲ 5.5	▲ 6.7	▲ 8.0	▲ 6.3	▲ 3.5	▲ 1.7	▲ 2.2	▲ 2.7	▲ 2.3	▲ 2.7	▲ 2.6	▲ 2.2	▲ 2.1	▲ 2.2	▲ 1.8	▲ 1.3	▲ 0.7	▲ 0.2	▲ 0.6

図1 三重県の用途別対前年平均変動率の推移



## (2) 全国及び近接県との比較

### ア 住宅地

- ① 全国の住宅地の平均変動率は▲0.4%（前年 0.8%）であり、5年ぶりに下落に転じた。  
近接県との比較は次のとおりである。

三重県	▲1.1% (39位)		
愛知県	▲1.0% (37位)	岐阜県	▲1.3% (44位)
静岡県	▲1.5% (47位)	奈良県	▲0.8% (28位)
滋賀県	▲1.3% (44位)	京都府	▲0.6% (20位)
大阪府	▲0.5% (19位)	和歌山県	▲1.3% (44位)

- ② 全国及び三大都市圏の状況との比較については、表7、図2のとおりである。

### イ 商業地

- ① 全国の商業地の平均変動率は▲0.8%（前年 3.1%）であり、7年ぶりに下落に転じた。  
近接県との比較は次のとおりである。

三重県	▲1.2% (31位)		
愛知県	▲1.7% (40位)	岐阜県	▲1.6% (38位)
静岡県	▲1.8% (42位)	奈良県	▲1.8% (42位)
滋賀県	▲0.7% (15位)	京都府	▲1.8% (42位)
大阪府	▲2.1% (47位)	和歌山県	▲1.1% (27位)

- ② 全国及び三大都市圏の状況との比較については、表8、図3のとおりである。

### ウ 工業地

- ① 全国の工業地の平均変動率は 0.8%（前年 1.8%）であり、5年連続のプラスとなったが、上昇率は縮小した。

近接県との比較は次のとおりである。

三重県	▲0.6% (37位)		
愛知県	▲0.6% (37位)	岐阜県	▲0.7% (41位)
静岡県	▲0.7% (41位)	奈良県	0.8% (12位)
滋賀県	0.3% (17位)	京都府	▲0.3% (32位)
大阪府	0.5% (15位)	和歌山県	▲0.9% (47位)

- ② 全国及び三大都市圏の状況との比較については、表9、図4のとおりである。

※「三大都市圏」とは、東京圏、大阪圏、名古屋圏をいう。

- ・「東京圏」とは、首都圏整備法による既成市街地及び近郊整備地帯を含む市区町の区域をいう。
- ・「大阪圏」とは、近畿圏整備法による既成都市区域及び近郊整備区域を含む市町村の区域をいう。
- ・「名古屋圏」とは、中部圏開発整備法による都市整備区域を含む市町村の区域をいう。  
(三重県では、四日市市、桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、朝日町、川越町が名古屋圏に含まれる。)

表7 三重県・三大都市圏及び全国平均対前年変動率の推移(住宅地)

(単位:%)

	S58	59	60	61	62	63	H元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	R2	R3
三重県	6.2	3.7	2.2	1.8	1.8	2.2	4.1	11.8	20.3	4.1	▲ 1.5	▲ 1.7	▲ 1.4	▲ 1.8	▲ 1.1	▲ 1.0	▲ 1.4	▲ 2.1	▲ 2.4	▲ 3.1	▲ 3.5	▲ 5.4	▲ 6.0	▲ 4.7	▲ 2.9	▲ 1.7	▲ 2.0	▲ 2.4	▲ 2.1	▲ 2.3	▲ 2.2	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 1.4	▲ 1.0	▲ 0.7	▲ 1.1
東京圏	4.1	2.2	1.7	3.0	21.5	68.6	0.4	6.6	6.6	▲ 9.1	▲ 14.6	▲ 7.8	▲ 2.9	▲ 5.0	▲ 3.4	▲ 3.0	▲ 6.4	▲ 6.8	▲ 5.8	▲ 5.9	▲ 5.6	▲ 4.7	▲ 3.2	▲ 0.9	3.6	5.5	▲ 4.4	▲ 4.9	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 0.7	0.7	0.5	0.6	0.7	1.0	1.3	1.4	▲ 0.5
大阪圏	5.3	3.6	3.0	2.6	3.4	18.6	32.7	56.1	6.5	▲ 22.9	▲ 17.1	▲ 6.8	▲ 1.9	▲ 4.3	▲ 2.2	▲ 1.5	▲ 5.2	▲ 6.1	▲ 6.7	▲ 8.6	▲ 8.8	▲ 8.0	▲ 5.2	▲ 1.6	1.8	2.7	▲ 2.0	▲ 4.8	▲ 2.4	▲ 1.3	▲ 0.9	▲ 0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.3	0.4	▲ 0.5
名古屋圏	4.5	2.4	1.6	1.4	1.6	7.3	16.4	20.2	18.8	▲ 5.2	▲ 8.6	▲ 6.1	▲ 4.0	▲ 3.6	▲ 1.7	▲ 0.8	▲ 3.3	▲ 1.8	▲ 1.9	▲ 4.4	▲ 5.6	▲ 4.9	▲ 3.3	▲ 1.3	1.7	2.8	▲ 2.8	▲ 2.5	▲ 0.6	▲ 0.4	0.0	1.1	0.8	0.8	0.6	0.8	1.2	1.1	▲ 1.0
全国平均	5.1	3.0	2.2	2.2	7.6	25.0	7.9	17.0	10.7	▲ 5.6	▲ 8.7	▲ 4.7	▲ 1.6	▲ 2.6	▲ 1.6	▲ 1.4	▲ 3.8	▲ 4.1	▲ 4.2	▲ 5.2	▲ 5.8	▲ 5.7	▲ 4.6	▲ 2.7	0.1	1.3	▲ 3.2	▲ 4.2	▲ 2.7	▲ 2.3	▲ 1.6	▲ 0.6	▲ 0.4	▲ 0.2	0.0	0.3	0.6	0.8	0.4

図2 三重県・三大都市圏及び全国平均対前年変動率の推移(住宅地)

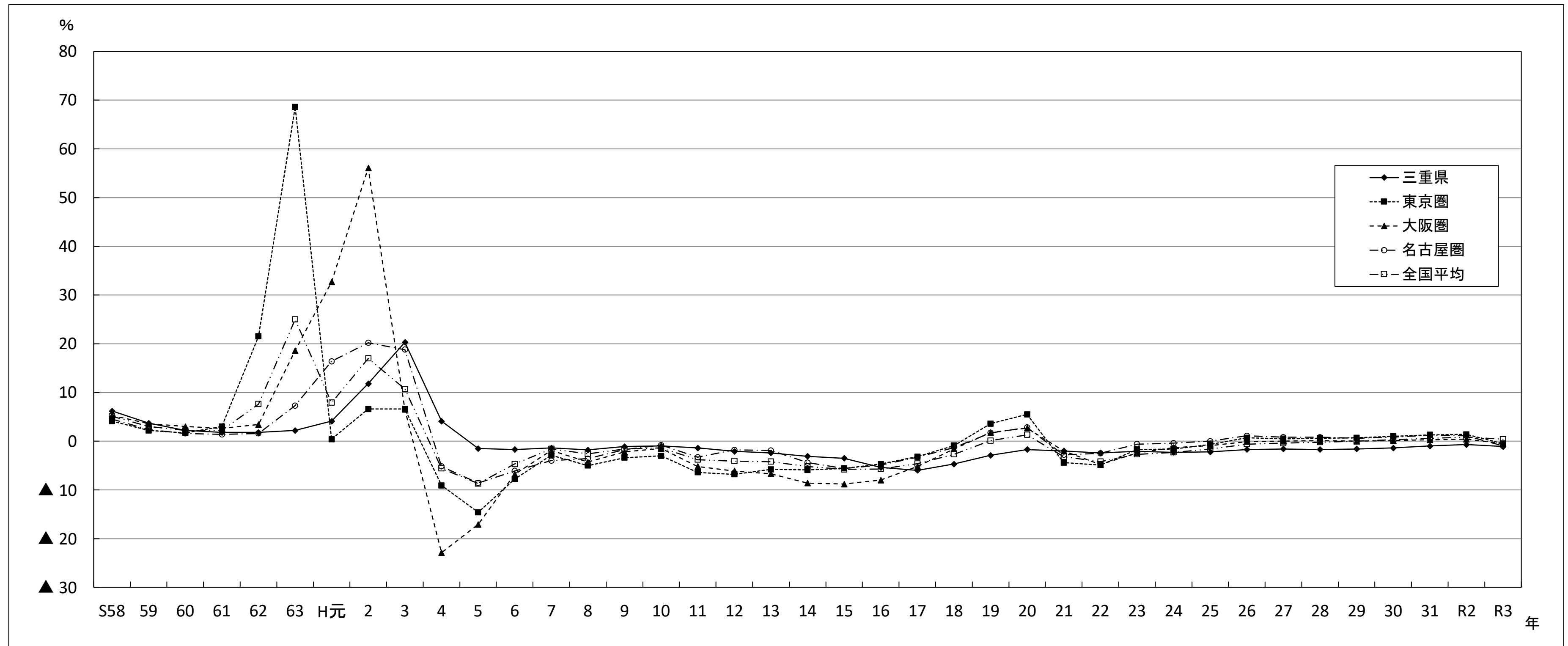


表8 三重県・三大都市圏及び全国平均対前年変動率の推移(商業地)

(単位:%)位:%)

	S58	59	60	61	62	63	H元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	R2	R3
三重県	4.2	2.6	2.2	2.6	2.0	2.9	6.1	15.4	23.7	2.8	▲ 3.7	▲ 3.7	▲ 4.8	▲ 5.8	▲ 5.0	▲ 5.1	▲ 6.3	▲ 8.3	▲ 8.7	▲ 9.1	▲ 8.4	▲ 8.5	▲ 8.1	▲ 6.2	▲ 3.5	▲ 1.5	▲ 2.6	▲ 3.1	▲ 2.7	▲ 2.6	▲ 2.3	▲ 1.5	▲ 1.5	▲ 1.5	▲ 1.6	▲ 1.3	▲ 0.8	▲ 0.4	▲ 1.2
東京圏	4.2	5.5	7.2	12.5	48.2	61.1	3.0	4.8	4.1	▲ 6.9	▲ 19.0	▲ 18.3	▲ 15.4	▲ 17.2	▲ 13.2	▲ 8.2	▲ 10.1	▲ 9.6	▲ 8.0	▲ 7.4	▲ 5.8	▲ 4.5	▲ 2.5	1.0	9.4	12.2	▲ 6.1	▲ 7.3	▲ 2.5	▲ 1.9	▲ 0.5	1.7	2.0	2.7	3.1	3.7	4.7	5.2	▲ 1.0
大阪圏	4.1	3.9	5.0	7.0	13.2	37.2	35.6	46.3	8.1	▲ 19.5	▲ 24.2	▲ 19.1	▲ 15.3	▲ 15.8	▲ 9.9	▲ 6.8	▲ 9.6	▲ 11.3	▲ 11.0	▲ 11.3	▲ 10.2	▲ 8.8	▲ 5.0	0.8	8.3	7.2	▲ 3.3	▲ 7.4	▲ 3.6	▲ 1.7	▲ 0.5	1.4	1.5	3.3	4.1	4.7	6.4	6.9	▲ 1.8
名古屋圏	3.5	2.7	2.7	3.3	6.4	16.8	21.0	22.4	19.1	▲ 7.6	▲ 13.7	▲ 11.5	▲ 12.7	▲ 12.6	▲ 8.5	▲ 6.2	▲ 11.2	▲ 7.3	▲ 5.6	▲ 8.1	▲ 8.0	▲ 6.0	▲ 3.3	0.9	7.8	8.4	▲ 5.9	▲ 6.1	▲ 1.2	▲ 0.8	▲ 0.3	1.8	1.4	2.7	2.5	3.3	4.7	4.1	▲ 1.7
全国平均	4.0	3.5	3.8	5.1	13.4	21.9	10.3	16.7	12.9	▲ 4.0	▲ 11.4	▲ 11.3	▲ 10.0	▲ 9.8	▲ 7.8	▲ 6.1	▲ 8.1	▲ 8.0	▲ 7.5	▲ 8.3	▲ 8.0	▲ 7.4	▲ 5.6	▲ 2.7	2.3	3.8	▲ 4.7	▲ 6.1	▲ 3.8	▲ 3.1	▲ 2.1	▲ 0.5	0.0	0.9	1.4	1.9	2.8	3.1	▲ 0.8

図3 三重県・三大都市圏及び全国平均対前年変動率の推移(商業地)

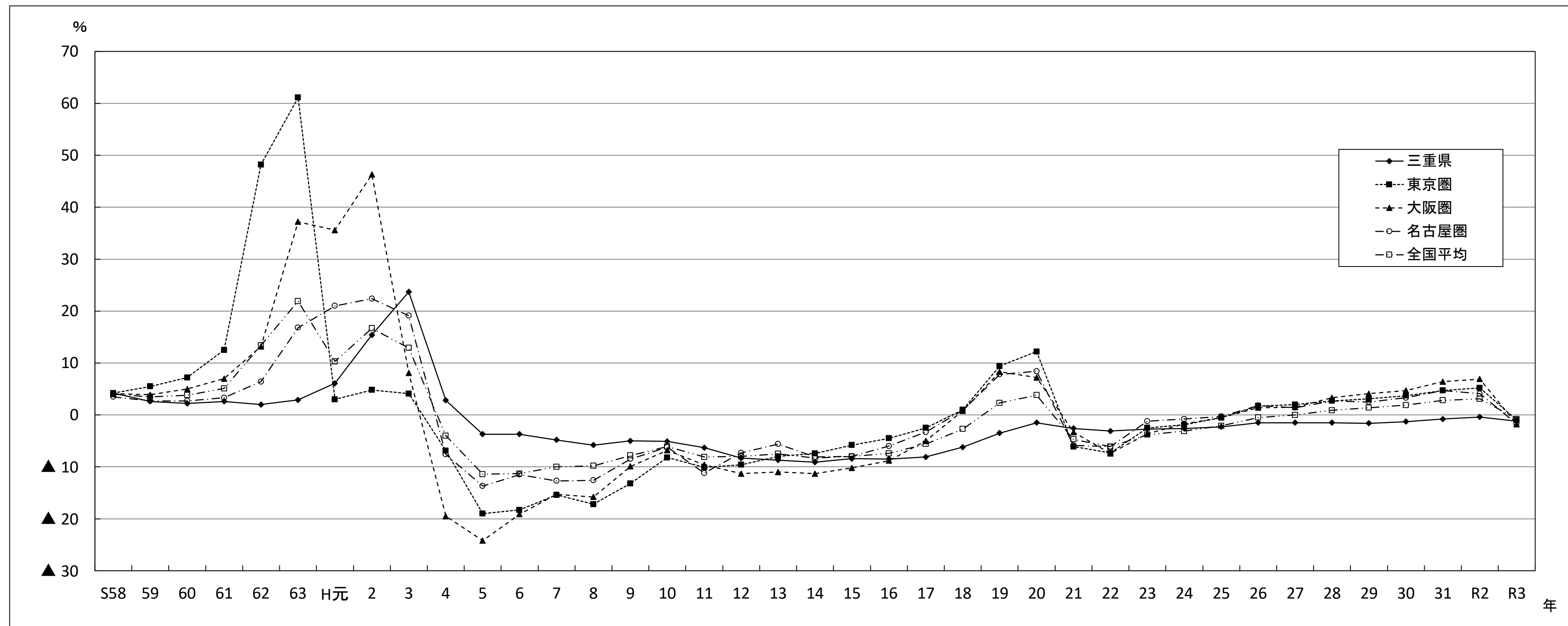
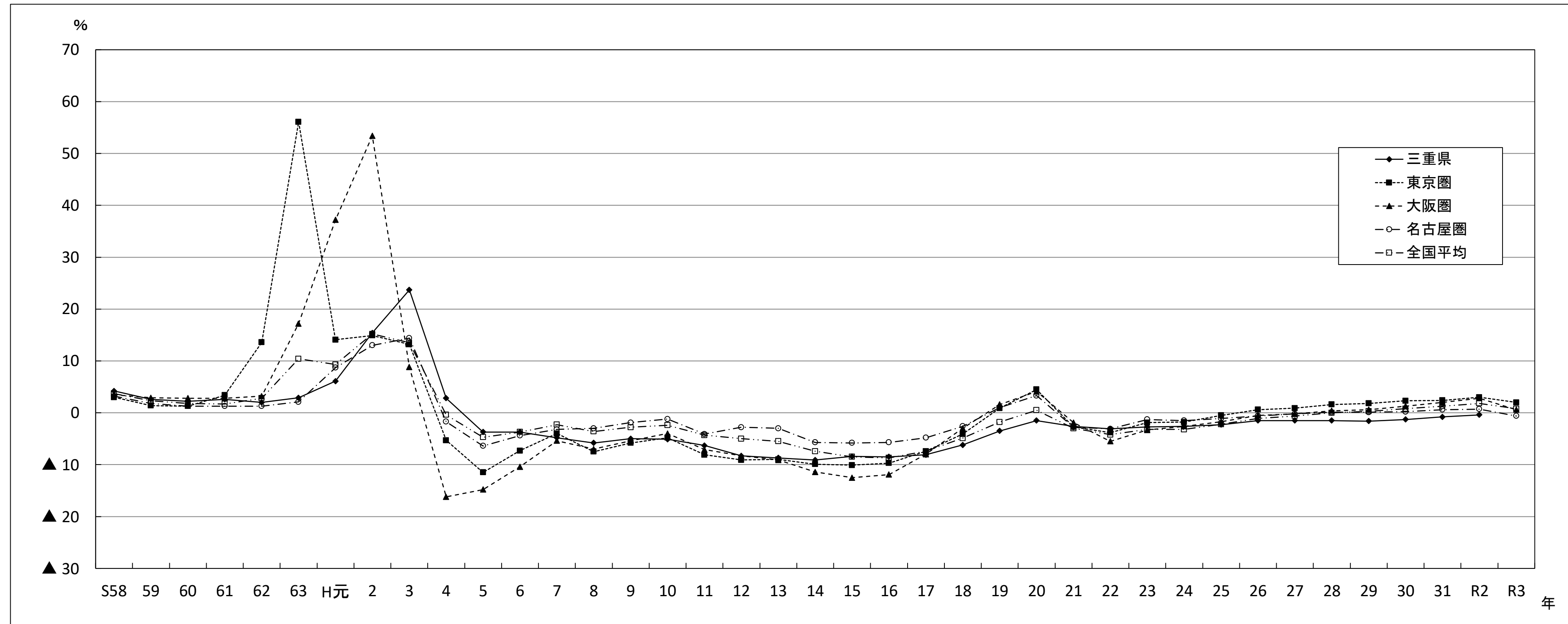


表9 三重県・三大都市圏及び全国平均対前年変動率の推移(工業地)

(単位:%)

	S58	59	60	61	62	63	H元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	R2	R3
三重県	3.8	2.5	1.9	2.2	2.0	2.2	2.3	9.4	21.2	8.2	0.7	▲1.7	▲1.9	▲1.8	▲1.5	▲1.5	▲3.0	▲3.7	▲3.6	▲4.9	▲5.5	▲6.7	▲8.0	▲6.3	▲3.5	▲1.7	▲2.2	▲2.7	▲2.3	▲2.7	▲2.6	▲2.2	▲2.1	▲2.2	▲1.8	▲1.3	▲0.7	▲0.2	▲0.6
東京圏	3.0	1.4	1.3	3.4	13.6	56.1	14.1	14.9	13.2	▲5.3	▲11.5	▲7.3	▲4.0	▲7.5	▲5.8	▲4.8	▲8.1	▲9.1	▲9.0	▲9.9	▲10.1	▲9.7	▲7.4	▲4.1	0.9	4.5	▲2.7	▲3.8	▲1.9	▲1.8	▲0.5	0.6	0.9	1.6	1.8	2.3	2.4	3.0	2.0
大阪圏	3.5	2.9	2.8	2.8	3.2	17.2	37.2	53.4	8.8	▲16.2	▲14.8	▲10.4	▲5.4	▲7.0	▲5.4	▲4.0	▲7.1	▲8.3	▲9.1	▲11.4	▲12.5	▲11.9	▲8.0	▲3.0	1.6	4.1	▲1.9	▲5.5	▲3.3	▲2.6	▲1.7	▲0.5	▲0.2	0.4	0.6	1.3	2.0	2.8	0.6
名古屋圏	3.2	1.8	1.3	1.3	1.3	2.1	8.7	13.0	14.4	▲1.7	▲6.4	▲4.4	▲3.2	▲3.0	▲1.9	▲1.2	▲4.1	▲2.8	▲3.0	▲5.7	▲5.8	▲5.7	▲4.8	▲2.6	1.0	3.3	▲2.8	▲3.1	▲1.3	▲1.5	▲1.1	▲0.6	▲0.2	0.1	0.1	0.2	0.6	0.7	▲0.6
全国平均	3.7	2.3	1.8	1.7	2.8	10.4	9.3	15.2	13.5	▲0.4	▲4.7	▲3.7	▲2.3	▲3.6	▲2.8	▲2.4	▲4.3	▲5.0	▲5.5	▲7.4	▲8.5	▲8.7	▲7.4	▲4.9	▲1.8	0.5	▲3.0	▲4.2	▲3.2	▲3.2	▲2.2	▲1.1	▲0.6	0.0	0.3	0.8	1.3	1.8	0.8

図4 三重県・三大都市圏及び全国平均対前年変動率の推移(工業地)



令和3年地価公示 地域別・市町別・用途別平均価格及び変動率

(単位: 円/平方メートル、%)

	住宅地				宅地見込地				商業地				工業地			
	地点数		平均 価格	変動率	地点数		平均 価格	変動率	地点数		平均 価格	変動率	地点数		平均 価格	変動率
	総数	継続			総数	継続			総数	継続			総数	継続		
三重県	293	291	38,000	▲ 1.1	3	2	11,900	▲ 1.7	110	107	69,000	▲ 1.2	24	24	22,100	▲ 0.6
北勢	165	164	43,700	▲ 0.6	2	1	13,900	▲ 0.8	51	49	74,800	▲ 0.6	16	16	25,800	▲ 0.4
四日市市	62	61	47,100	▲ 0.4	1	1	13,200	▲ 0.8	28	26	84,600	▲ 0.5	10	10	26,900	▲ 0.4
桑名市	39	39	51,300	▲ 0.7	1	0	14,500	—	7	7	84,800	▲ 0.3	2	2	27,000	▲ 0.4
鈴鹿市	32	32	36,700	▲ 0.6					8	8	60,100	▲ 0.7	3	3	22,500	▲ 0.6
亀山市	4	4	27,700	▲ 1.1					4	4	36,200	▲ 1.8				
いなべ市	7	7	25,300	▲ 0.7					2	2	41,700	▲ 0.5				
木曽岬町	3	3	27,700	▲ 3.0												
東員町	5	5	35,000	▲ 0.6												
菰野町	6	6	36,400	▲ 0.4					1	1	66,300	▲ 0.3				
朝日町	4	4	51,000	▲ 0.3												
川越町	3	3	47,400	▲ 0.1					1	1	80,000	▲ 0.5	1	1	23,400	▲ 0.4
中南勢	70	70	36,100	▲ 1.3	1	1	7,900	▲ 2.5	30	30	73,300	▲ 1.2	5	5	13,500	▲ 1.1
津市	43	43	40,500	▲ 1.1	1	1	7,900	▲ 2.5	21	21	79,700	▲ 1.1	3	3	13,000	▲ 1.0
松阪市	23	23	30,700	▲ 1.5					7	7	65,700	▲ 1.1	2	2	14,300	▲ 1.4
多気町	1	1	28,900	▲ 0.7					1	1	29,000	▲ 1.7				
明和町	3	3	16,000	▲ 1.8					1	1	36,300	▲ 2.4				
伊勢志摩	27	26	23,700	▲ 1.9					14	14	63,500	▲ 2.1				
伊勢市	12	12	32,900	▲ 1.6					6	6	107,500	▲ 1.3				
鳥羽市	3	2	20,600	▲ 2.7					2	2	33,100	▲ 2.7				
志摩市	8	8	14,400	▲ 2.2					4	4	29,700	▲ 2.8				
玉城町	2	2	18,100	▲ 1.2					1	1	31,500	▲ 1.6				
南伊勢町	2	2	15,500	▲ 2.5					1	1	27,300	▲ 2.5				
伊賀	21	21	25,200	▲ 2.3					11	10	45,000	▲ 2.4	3	3	16,300	▲ 0.9
名張市	5	5	29,500	▲ 2.3					2	1	58,900	▲ 2.1				
伊賀市	16	16	23,900	▲ 2.3					9	9	42,000	▲ 2.4	3	3	16,300	▲ 0.9
東紀州	10	10	23,500	▲ 2.5					4	4	47,900	▲ 2.7				
尾鷲市	3	3	28,200	▲ 2.8					2	2	51,300	▲ 2.9				
熊野市	3	3	26,800	▲ 2.2					2	2	44,600	▲ 2.6				
紀北町	2	2	16,000	▲ 3.1												
御浜町	2	2	18,700	▲ 2.2												

価格順位表(住宅地)

標準地番号	所在並びに地番	住居表示(仮換地)	標準地1平方メートル 当たりの価格(円)			変動率(%)		前年 順位	本年 順位
			31年価格	2年価格	3年価格	(31年・ 2年比)	(2年・ 3年比)		
津 - 18	津市 大谷町118番7		110,000	113,000	113,000	2.7	0.0	1	1
桑名 - 24	桑名市 大字東方字徳成1601番30		-	87,800	87,800	-	0.0	2	2
※ 津 - 1	津市 観音寺町字大谷766番33		85,500	86,100	86,100	0.7	0.0	3	3
桑名 - 12	桑名市 汐見町2丁目12番		84,100	85,600	85,600	1.8	0.0	4	4
桑名 - 20	桑名市 大字東方字打上田251番2外		82,400	83,500	83,500	1.3	0.0	5	5
※ 桑名 - 10	桑名市 矢田磧97番		77,800	78,100	78,100	0.4	0.0	6	6
桑名 - 27	桑名市 大字東方字尾畑1952番12		72,200	73,400	73,400	1.7	0.0	7	7
四日市 - 6	四日市市 赤堀新町223番	赤堀新町3-9	72,000	73,200	73,200	1.7	0.0	8	8
※ 津 - 6	津市 南が丘3丁目10番12		71,300	72,700	72,700	2.0	0.0	9	9
※ 四日市 - 5	四日市市 堀木2丁目331番	堀木2-14-2	70,800	71,900	71,900	1.6	0.0	10	10

(注) 欄外の「※」は、地価調査の基準地と同一地点の標準地



価格順位表(商業地)

標準地番号	所在並びに地番	住居表示(仮換地)	標準地1平方メートル 当たりの価格(円)			変動率(%)		前年 順位	本年 順位
			31年価格	2年価格	3年価格	(31年・ 2年比)	(2年・ 3年比)		
四日市 5 - 1	四日市市 諏訪栄町212番 (ホリキビル・愛汗ビル)	諏訪栄町6-3	387,000	400,000	400,000	3.4	0.0	1	1
伊勢 5 - 3	伊勢市 宇治今在家町字中賀集楽47番1外 (宇治園、手こね茶屋)		283,000	300,000	300,000	6.0	0.0	2	2
津 5 - 3	津市 羽所町375番外 (百五・明生ビル)		256,000	257,000	251,000	0.4	△ 2.3	3	3
桑名 5 - 1	桑名市 末広町58番外 (タクトビル)		144,000	147,000	147,000	2.1	0.0	4	4
伊勢 5 - 2	伊勢市 本町426番2 (菊花ビル)	本町13-4	137,000	142,000	142,000	3.6	0.0	5	5
津 5 - 7	津市 新町1丁目240番4外 (第三開明ビル)	新町1-12-17	128,000	128,000	126,000	0.0	△ 1.6	6	6
※ 津 5 - 5	津市 丸之内429番外 (大和証券津支店)	丸之内32-18	118,000	118,000	116,000	0.0	△ 1.7	7	7
津 5 - 1	津市 桜橋2丁目180番1外 (株式会社三重電子計算センター)		115,000	115,000	114,000	0.0	△ 0.9	8	8
四日市 5 - 2	四日市市 諏訪栄町143番 (タイガービル)	諏訪栄町13-2	108,000	111,000	109,000	2.8	△ 1.8	9	9
四日市 5 - 28	四日市市 鵜の森1丁目238番 (グレイシャス)	鵜の森1-12-8	104,000	107,000	107,000	2.9	0.0	11	10
鈴鹿 5 - 2	鈴鹿市 南江島町260番 (肉のかねまさ)	南江島町12-24	108,000	108,000	107,000	0.0	△ 0.9	10	10

(注)欄外の「※」は、地価調査の基準地と同一地点の標準地

## 価格順位表(工業地)

標準地番号	所在並びに地番	住居表示(仮換地)	標準地1平方メートル 当たりの価格(円)			変動率(%)		前年 順位	本年 順位
			31年価格	2年価格	3年価格	(31年・ 2年比)	(2年・ 3年比)		
四日市 9 - 5	四日市市 午起2丁目1401番2外	午起2-5-26	37,500	37,500	37,400	0.0	△ 0.3	1	1
鈴鹿 9 - 3	鈴鹿市 安塚町字源平塚1350番208外		34,100	34,100	33,900	0.0	△ 0.6	2	2
四日市 9 - 2	四日市市 富士町2589番	富士町1-147	33,100	33,200	33,100	0.3	△ 0.3	3	3
桑名 9 - 1	桑名市 大字安永字四区割755番2外		32,500	32,500	32,400	0.0	△ 0.3	4	4
四日市 9 - 1	四日市市 河原田町字松本1315番1外		28,400	28,400	28,300	0.0	△ 0.4	5	5
四日市 9 - 7	四日市市 末広町10番2外	末広町2-9	25,700	25,700	25,600	0.0	△ 0.4	6	6
四日市 9 - 8	四日市市 宝町1番2		25,700	25,700	25,600	0.0	△ 0.4	6	6
四日市 9 - 9	四日市市 天力須賀新町1番27		25,600	25,600	25,500	0.0	△ 0.4	8	8
四日市 9 - 10	四日市市 黄金町35番		25,200	25,300	25,200	0.4	△ 0.4	9	9
三重川越 9 - 1	三重郡川越町 大字亀崎新田字下新田77番577		23,400	23,500	23,400	0.4	△ 0.4	10	10

プラス変動率順位表(住宅地)

標準地番号	所在並びに地番	住居表示(仮換地)	標準地1平方メートル当たりの価格(円)			変動率(%)		前年順位	本年順位	変動要因
			31年価格	2年価格	3年価格	(31年・2年比)	(2年・3年比)			
津 - 1	津市 観音寺町字大谷766番33		85,500	86,100	86,100	0.7	0.0	27	1	津駅に近い高台の閑静な住宅地域で、住環境に優れ需要は堅調である。
津 - 6	津市 南が丘3丁目10番12		71,300	72,700	72,700	2.0	0.0	2	1	区画整然とした大規模住宅団地で、良好な住環境を保持しており、需要は安定している。
津 - 8	津市 長岡町字小黑800番399		62,700	63,300	63,300	1.0	0.0	16	1	新型コロナの影響で取引に停滞感はあるが、人気の高いエリアで価格は安定している。
津 - 10	津市 上浜町6丁目224番16		60,800	61,300	61,300	0.8	0.0	23	1	各種便利施設が比較的近く需要も底堅いが、新型コロナの影響により地価に頭打ち感もある。
津 - 17	津市 大園町94番3	大園町16-38	59,000	59,100	59,100	0.2	0.0	80	1	近鉄津新町駅への利便性が良好な既存住宅地域で、需要は安定している。
津 - 18	津市 大谷町118番7		110,000	113,000	113,000	2.7	0.0	1	1	津駅から徒歩圏の環境良好な住宅地で、需要が強く、新型コロナの影響も限定的である。
津 - 20	津市 押加部町540番20	押加部町10-30	57,700	57,800	57,800	0.2	0.0	79	1	住環境が良好な地域で、新型コロナの影響も少なく、需要は安定的に推移している。
津 - 31	津市 久居野村町字屋敷先563番 2		38,800	39,000	39,000	0.5	0.0	35	1	近鉄久居駅の徒歩圏にあり、住環境、生活利便性ともに概ね良好で、需要は堅調である。
津 - 33	津市 河芸町浜田字黒田553番 28		35,300	35,400	35,400	0.3	0.0	58	1	一般住宅が建ち並ぶ区画整然として住宅地域で、需要は安定的に推移している。
津 - 37	津市 夢が丘1丁目7番13		45,400	45,600	45,600	0.4	0.0	42	1	丘陵地に開発された比較的良好な環境の住宅団地で、需要は安定的である。
津 - 43	津市 久居野村町字駒屋606番 47		46,400	46,800	46,800	0.9	0.0	21	1	中勢バイパスに近い住宅地域で、周辺では分譲住宅地も見られ、土地需要は安定している。
四日市 - 1	四日市市 城東町196番2外	城東町6-10	67,500	68,400	68,400	1.3	0.0	10	1	市中心部に近い利便性の高い住宅地で、市場への物件供給は少なく、需要は安定している。
四日市 - 3	四日市市 浮橋2丁目15番6		61,900	62,400	62,400	0.8	0.0	25	1	市街地近郊の住環境の良い住宅団地で、生活利便性にも優れ、安定的な需要がある。
四日市 - 4	四日市市 ときわ3丁目664番 32	ときわ3-13-15	60,500	61,100	61,100	1.0	0.0	14	1	市中心部に近く利便性に優れ需要は底堅いが、新型コロナの影響で地価の上昇は鈍化した。
四日市 - 5	四日市市 堀木2丁目331番	堀木2-14-2	70,800	71,900	71,900	1.6	0.0	7	1	市中心部に近く利便性に優れ需要は底堅いが、新型コロナ以降停滞感がある。
四日市 - 6	四日市市 赤堀新町223番	赤堀新町3-9	72,000	73,200	73,200	1.7	0.0	4	1	市中心部に近く利便性に優れ需要は強いが、新型コロナの影響で地価の上昇は鈍化した。
四日市 - 7	四日市市 坂部台1丁目7番14		49,000	49,400	49,400	0.8	0.0	24	1	比較的新しい郊外の住宅団地で、良好な住環境下にあり、需要は比較的安定している。

※

プラス変動率順位表(住宅地)

標準地番号	所在並びに地番	住居表示(仮換地)	標準地1平方メートル当たりの価格(円)			変動率(%)		前年順位	本年順位	変動要因
			31年価格	2年価格	3年価格	(31年・2年比)	(2年・3年比)			
四日市 - 8	四日市市 中川原1丁目722番1	中川原1-6-21	63,300	64,300	64,300	1.6	0.0	6	1	近鉄中川原駅に近い住宅地域で、生活利便性に優れており、安定した需要がある。
※ 四日市 - 19	四日市市 大字茂福字坪ノ内126番1		62,900	63,600	63,600	1.1	0.0	13	1	近鉄富田駅や大規模商業施設等への接近性に優れた住宅地域で、需要は安定している。
四日市 - 20	四日市市 羽津中1丁目1743番4	羽津中1-6-26	56,100	56,600	56,600	0.9	0.0	18	1	近鉄霞ヶ浦駅に近く利便性が良好で、周辺では住宅地供給も見られ、需要は安定している。
四日市 - 24	四日市市 大井手1丁目219番6	大井手1-2-14	61,200	61,800	61,800	1.0	0.0	15	1	伊勢松本駅に近い住宅地で、中心市街地への接近性も比較的良好で需要は堅調である。
四日市 - 29	四日市市 滝川町155番6	滝川町20-4	59,500	60,200	60,200	1.2	0.0	11	1	近鉄名古屋線の駅に近接した利便性の高い住宅地で、需要は堅調である。
四日市 - 33	四日市市 松本4丁目471番29	松本4-12-5	62,800	63,400	63,400	1.0	0.0	17	1	松本街道背後の高台にある住宅地で、市中心部への接近性等が良く需要が認められる。
四日市 - 34	四日市市 新正1丁目2403番2	新正1-10-9	60,000	60,700	60,700	1.2	0.0	12	1	市中心部に近く利便性が高いが、供給は少なく、需要は堅調だが様子見傾向も見られる。
四日市 - 39	四日市市 生桑町字大谷2212番108		55,500	55,800	55,800	0.5	0.0	33	1	鉄道駅から遠いが比較利便性が高い高台の住宅地で、需要は安定している。
四日市 - 42	四日市市 石塚町1884番5	石塚町15-16	56,100	56,600	56,600	0.9	0.0	18	1	街路が狭い既成住宅地域であるが、利便性が良好なため需要は安定している。
四日市 - 61	四日市市 芝田1丁目13番7外	芝田1-1-38	66,800	67,800	67,800	1.5	0.0	8	1	市中心部近くの住宅地域で、生活利便性に優れ、需要は底堅く推移している。
桑名 - 2	桑名市 大字桑名字葭山647番39		68,400	69,000	69,000	0.9	0.0	20	1	長良川河畔にあるが、桑名駅周辺の利便性に優れた閑静な住宅地域で、優良な選好度を有する。
桑名 - 10	桑名市 矢田磧97番		77,800	78,100	78,100	0.4	0.0	48	1	市中心部に近い利便性の高い住宅地域で、市場への物件供給は少なく、需要は堅調である。
桑名 - 12	桑名市 汐見町2丁目12番		84,100	85,600	85,600	1.8	0.0	3	1	桑名駅に近い高台の住宅地で、住環境に優れ需要は強いが新型コロナの影響で地価は鈍化した。
桑名 - 20	桑名市 大字東方字打上田251番2外		82,400	83,500	83,500	1.3	0.0	9	1	土地区画整理事業が終盤で、街路が整然とし建物の建替えも進み、土地需要は強い。
桑名 - 23	桑名市 大字東方字尾弓田963番4外		55,700	55,800	55,800	0.2	0.0	77	1	鉄道駅や幹線道路に近く、利便性の高い住宅地域のため、一定の需要は認められる。
桑名 - 24	桑名市 大字東方字徳成1601番30			87,800	87,800	-	0.0	-	1	桑名駅に近い高台の住宅地で、住環境に優れ、需要は堅調ながら様子見傾向も見られる。
桑名 - 27	桑名市 大字東方字尾畑1952番12		72,200	73,400	73,400	1.7	0.0	5	1	桑名駅に近い高台の住宅地で、需要は底堅いが、新型コロナの影響で地価上昇は鈍化した。

プラス変動率順位表(住宅地)

標準地番号	所在並びに地番	住居表示(仮換地)	標準地1平方メートル当たりの価格(円)			変動率(%)		前年順位	本年順位	変動要因
			31年価格	2年価格	3年価格	(31年・2年比)	(2年・3年比)			
桑名 ー 29	桑名市 新西方4丁目28番		66,300	66,700	66,700	0.6	0.0	28	1	商業施設に近い選好性に優る住宅地であるが、新型コロナウイルスの影響で、地価にやや停滞感がある。
桑名 ー 30	桑名市 星見ヶ丘2丁目1122番		66,500	66,900	66,900	0.6	0.0	29	1	居住基盤が整った大規模な街並みの形成により、選好度は安定堅実である。
桑名 ー 35	桑名市 高塚町6丁目44番1		63,600	64,100	64,100	0.8	0.0	26	1	桑名駅西方の高台で需給は安定しているが、新型コロナウイルスの影響で、地価は足踏み状態にある。
桑名 ー 36	桑名市 松ノ木3丁目11番6		62,900	63,200	63,200	0.5	0.0	38	1	居住環境や生活利便性に優れた住宅団地で底堅い人気があり、地価は安定している。
桑名 ー 39	桑名市 陽だまりの丘2丁目301番69		56,800	57,100	57,100	0.5	0.0	34	1	住環境の良好な丘陵地の住宅地域で、需要は概ね堅調に推移している。
鈴鹿 ー 5	鈴鹿市 平田東町1198番2	平田東町4-1	45,500	45,600	45,600	0.2	0.0	68	1	近年宅地供給が活発な地域で、幹線道路や鉄道駅に近く利便性に優れるため、需要は底堅い。
鈴鹿 ー 10	鈴鹿市 桜島町6丁目14番17		44,800	45,000	45,000	0.4	0.0	40	1	生活利便性が高い街区の整ったエリアとして需要が高く、新型コロナウイルスの影響も限定的である。
鈴鹿 ー 15	鈴鹿市 庄野羽山4丁目3000番 158	庄野羽山4-13-12	45,300	45,400	45,400	0.2	0.0	67	1	区画整然とした住宅地域で、大規模商業施設に近く利便性に優れるため、需要は底堅い。
鈴鹿 ー 18	鈴鹿市 東旭が丘3丁目6755番 58	東旭が丘3-14-16	48,300	48,500	48,500	0.4	0.0	45	1	生活利便性の良い立地で需要に底堅さはあるが、新型コロナウイルスによる地価の頭打ち感もある。
鈴鹿 ー 31	鈴鹿市 江島町4029番		60,400	60,700	60,700	0.5	0.0	36	1	土地区画整理事業施行済の地域で、売り物件待ちの需要者が多く需要は安定的に推移している。
鈴鹿 ー 32	鈴鹿市 北玉垣町字小塚1772番 6		45,100	45,300	45,300	0.4	0.0	41	1	小規模開発された住宅地域で、近くにて中勢パイパスが建設中であり、土地需要は安定している。
三重朝日 ー 4	三重郡 朝日町白梅の丘東2丁目3番6		60,500	61,000	61,000	0.8	0.0	22	1	高台に位置する新興大規模住宅団地で、選好度から需要があり、地価は安定的に推移している。
三重川越 ー 3	三重郡 川越町大字北福崎字宮西 86番9		52,500	52,700	52,700	0.4	0.0	50	1	農地も見られる住宅地域で、この地域の小規模開発は需要があり、価格は安定している。

(注)今年はプラスの地点がありません。

プラス変動率順位表(商業地)

標準地番号	所在並びに地番	住居表示(仮換地)	標準地1平方メートル 当たりの価格(円)			変動率(%)		前年 順位	本年 順位	変動要因
			31年 価格	2年 価格	3年 価格	(31年・ 2年比)	(2年・ 3年比)			
四日市 5 - 1	四日市市 諏訪栄町212番 (ホリキビル・愛汗ビル)	諏訪栄町6-3	387,000	400,000	400,000	3.4	0.0	3	1	大規模量販店等が建ち並ぶ繁華な商業地域で高い集客力を維持していたが、新型コロナの影響で需要者の市況見極め姿勢が続いている。
四日市 5 - 28	四日市市 鶉の森1丁目238番 (グレイシャス)	鶉の森1-12-8	104,000	107,000	107,000	2.9	0.0	4	1	中高層の店舗兼共同住宅等が多い商業地域で近鉄四日市駅徒歩圏内と需給は安定しているが、新型コロナ以降は足踏み状態が見られる。
伊勢 5 - 2	伊勢市 本町426番2 (菊花ビル)	本町13-4	137,000	142,000	142,000	3.6	0.0	2	1	土産店や飲食店、事務所等が混在する商業地域で、新型コロナによる影響は出ているが、空・閉鎖店舗等は少なく、一定の需要は見込める。
伊勢 5 - 3	伊勢市 宇治今在家町字中賀集楽47番1外 (宇治園、手こね茶屋)		283,000	300,000	300,000	6.0	0.0	1	1	土産店や飲食店等が建ち並ぶ古くからの商業地域で、土地需要は強いが、新型コロナの影響で一時的に上昇が止まっている。
桑名 5 - 1	桑名市 末広町58番外 (タクトビル)		144,000	147,000	147,000	2.1	0.0	9	1	店舗や事務所が建ち並ぶ国道沿いの商業地域にあり、土地の利用形態は多様で、周辺ではマンション需要も旺盛である。

(注)今年にはプラスの地点がありません。

プラス変動率順位表(工業地)

標準地番号	所在並びに地番	住居表示(仮換地)	標準地1平方メートル 当たりの価格(円)			変動率(%)		前年 順位	本年 順位	変動要因
			31年 価格	2年 価格	3年 価格	(31年・ 2年比)	(2年・ 3年比)			
津 9 - 3	津市 新家町字西林281番6外		9,600	9,600	9,600	0.0	0.0	7	1	大規模工場が建つ内陸部方面に立地する工業地域で、中勢バイパスとの位置関係もよく、地価も安定して推移している。

(注)今年はプラスの地点がありません。

マイナス変動率順位表(住宅地)

標準地番号	所在並びに地番	住居表示(仮換地)	標準地1平方メートル当たりの価格(円)			変動率(%)		前年順位	本年順位	変動要因
			31年価格	2年価格	3年価格	(31年・2年比)	(2年・3年比)			
三重志摩 - 8	志摩市 志摩町片田字乙部2678番2		8,700	8,400	8,100	△ 3.4	△ 3.6	1	1	中小規模漁家住宅が密集する既成住宅地域で、津波が懸念され、世帯・人口とも減少に歯止めがかからず、需要不足が常態化している。
尾鷲 - 1	尾鷲市 小川東町722番9	小川東町20-8	23,300	22,700	21,900	△ 2.6	△ 3.5	18	2	一般住宅が密集する既成の住宅地域で、街路条件が劣り、沿岸部の不動産・人口動態は改善の兆しに乏しい。
紀北 - 2	北牟婁郡 紀北町海野字村ノ内 283番3		11,900	11,600	11,200	△ 2.5	△ 3.4	23	3	低層の漁家住宅等が建ち並ぶ旧来からの住宅地域で、人口減少のほか津波リスクは継続し、下落傾向は継続している。
鳥羽 - 3	鳥羽市 安楽島町字浦西758番		12,100	11,700	11,300	△ 3.3	△ 3.4	2	4	海岸部に接近した漁村の既成住宅地域で、津波懸念が強く、産業の低迷や高齢化により需要は殆どない。
津 - 30	津市 香良洲町字西ノ宮25番12		18,400	17,800	17,200	△ 3.3	△ 3.4	3	5	一般住宅の中に店舗兼住宅も見られる住宅地域で、海と川に囲まれた低地という地理的条件から、防災意識の高まりもあり需要は弱い。
四日市 - 11	四日市市 大字塩浜字西改2629 番1外		24,600	23,900	23,100	△ 2.8	△ 3.3	12	6	漁家住宅等が密集する既成住宅地域で、地縁が強く、外部から転入が少ない沿岸部の地域でもあり、津波浸水リスク等により需要は弱い。
木曾岬 - 1	桑名郡 木曾岬町大字栄94番12		37,100	35,900	34,700	△ 3.2	△ 3.3	4	7	一般住宅が建ち並ぶ区画整然とした住宅地域で、古くに開発された住宅団地でもあり、水害浸水懸念が強く需要は低迷している。
桑名 - 32	桑名市 長島町葎ヶ須字ろの割714番23		34,800	33,700	32,600	△ 3.2	△ 3.3	5	8	一般住宅が建ち並ぶ区画整然とした住宅地域で、木曾川近くのため水害懸念も強く、選好性に劣るため需要は弱い状態が継続している。
津 - 23	津市 津興字港中道南365番29		28,700	27,900	27,000	△ 2.8	△ 3.2	14	9	中規模一般住宅を中心に空地も見られる住宅地域で、沿岸部にあり岩田川にも近く、防災意識の高まりの中、需要は弱い。
津 - 4	津市 津興字出高109番50		29,000	28,100	27,200	△ 3.1	△ 3.2	6	10	中規模一般住宅が多い区画整然とした住宅地域で、沿岸部でもあり、引き続き浸水災害等を懸念して需要は低調である。

(注)同じ変動率で順位が異なるのは、小数点第2位以下の四捨五入によるものです。



マイナス変動率順位表(商業地)

標準地番号	所在並びに地番		住居表示(仮換地)	標準地1平方メートル 当たりの価格(円)			変動率(%)		前年 順位	本年 順位	変動要因
				31年 価格	2年 価格	3年 価格	(31年・ 2年比)	(2年・ 3年比)			
尾鷲 5 - 1	尾鷲市	野地町589番11外 (高級和洋菓子福助堂)	野地町12-45	50,900	49,200	47,500	△ 3.3	△ 3.5	1	1	小売店と事務所等からなる商業地域で、経営者の高齢化と大規模店舗への顧客流出が持続し、長く低迷している。
三重志摩 5 - 2	志摩市	浜島町浜島字目戸2846番 (ビューティーサロン・マリ)		24,000	23,200	22,400	△ 3.3	△ 3.4	2	2	中小規模の小売店舗等が建ち並ぶ商業地域で、過疎・高齢化による顧客の減少で、商業性低下が著しく、地域は衰退傾向にある。
三重志摩 5 - 1	志摩市	志摩町和具字川辺900番1外 (第三銀行和具支店)		26,200	25,400	24,600	△ 3.1	△ 3.1	3	3	各種店舗等が建ち並ぶ既成商業地域で、市中心部から大きく外れており、周辺の過疎・高齢化で商業機能が弱まっている。
伊賀 5 - 3	伊賀市	上野東町2961番 (百五銀行上野中央支店)		71,400	69,300	67,200	△ 2.9	△ 3.0	4	4	小売店舗や銀行等が建ち並ぶ駅に近い商業地域であるが、繁華性に劣り、需要は厳しい状態にある。
伊賀 5 - 2	伊賀市	上野農人町428番6 (パール化粧品店)		37,700	36,700	35,600	△ 2.7	△ 3.0	9	5	小売店舗や飲食店等が建ち並ぶ既成商業地域で、旧上野市街地内にあり、商業性の停滞傾向が続いている。
※ 伊賀 5 - 1	伊賀市	上野東町2968番 (御結納紅屋)		52,400	51,000	49,500	△ 2.7	△ 2.9	8	6	小売店舗を主とする駅近くの既成商業地域で、新型コロナの影響で客足が遠退いており、繁華性は低下している。
伊賀 5 - 5	伊賀市	阿保字椋ヶ森40番4外 (白百合写真館)		29,500	28,700	27,900	△ 2.7	△ 2.8	7	7	小売店舗や駐車場等が混在する駅前の商業地域であるが、繁華性は低く、周囲で新たな開発等の動きもなく、需要は弱い。
鳥羽 5 - 2	鳥羽市	小浜町字新吾谷272番 46外 (ホテルメ湯楽々)		30,000	29,300	28,500	△ 2.3	△ 2.7	14	8	ホテルや民宿等が建ち並ぶ海岸沿いの商業地域で、温泉街だが、新型コロナによる観光宿泊者の減少から需要は減退している。
伊勢 5 - 6	伊勢市	二見町茶屋字大多茂261番2外 (菊一文字則宗本店)		30,800	30,000	29,200	△ 2.6	△ 2.7	10	9	飲食店や小売店、住宅等が混在する既成商業地域で、新型コロナにより周辺旅館街客の減少等から閑散としており、需要は弱い。
三重志摩 5 - 4	志摩市	阿児町鶴方字屋敷垣内 4064番 (大屋ビル)		46,000	45,000	43,800	△ 2.2	△ 2.7	15	9	飲食店や店舗ビルが建ち並ぶ駅前にある志摩市の中心的商業地域であるが、空き店舗が多く見られるなど発展性は乏しい。

(注)同じ変動率で順位が異なるのは、小数点第2位以下の四捨五入によるものです。

マイナス変動率順位表(工業地)

標準地番号	所在並びに地番	住居表示(仮換地)	標準地1平方メートル当たりの価格(円)			変動率(%)		前年順位	本年順位	変動要因
			31年価格	2年価格	3年価格	(31年・2年比)	(2年・3年比)			
松阪 9 - 1	松阪市 大口町字新地1728番21		15,500	15,200	14,900	△ 1.9	△ 2.0	1	1	大中規模の工場が建ち並ぶ松阪港に近い工業地域で、交通アクセスに優る内陸部の工業団地に比べ、津波懸念のある沿岸部の需要は弱い。
津 9 - 2	津市 雲出伊倉津町字二十一割1430番1外		11,500	11,300	11,100	△ 1.7	△ 1.8	2	2	中規模工場が多い海に近い工業地域で、水害懸念により需要は弱く、今後は新型コロナの影響を注視する必要がある。
伊賀 9 - 3	伊賀市 西明寺2806番1外		22,500	22,200	21,900	△ 1.3	△ 1.4	3	3	工場、倉庫のほかに一般住宅等が混在する名阪国道に近い工業地域で、工場等の集積度は低く発展動向も見られず、需要はやや弱い。
津 9 - 1	津市 雲出長常町字四ノ割1118番3外		18,600	18,400	18,200	△ 1.1	△ 1.1	4	4	中小規模の工場や倉庫等が見られる津市南部の工業地域で、市街地や幹線道路への利便性を有するが、沿岸部に近いいため需要はやや弱い。
伊賀 9 - 2	伊賀市 小田町字西出1657番外		13,500	13,400	13,300	△ 0.7	△ 0.7	5	5	中小規模の工場が多く見られる工業地域で、幹線道路との接続は良いが、水害懸念があり、工場の集積度は低く、需要は弱い。
松阪 9 - 2	松阪市 広陽町17番		13,900	13,800	13,700	△ 0.7	△ 0.7	6	6	大中規模工場が建ち並ぶ内陸型の工業団地で、安定的な工場立地が見られるほか、近傍で国道が全線開通して利便性も向上している。
伊賀 9 - 1	伊賀市 三田字東大町410番3外		13,900	13,800	13,700	△ 0.7	△ 0.7	6	6	大規模工場が建ち並ぶ内陸型の工業地域で、関西圏と中京圏の中間に位置するが、工場立地に積極性を欠き、需要はやや弱含みである。
鈴鹿 9 - 1	鈴鹿市 国府町字石丸7651番10		16,300	16,400	16,300	0.6	△ 0.6	24	8	中小規模の工場、倉庫等が多い工業地域で、周辺で道路網の整備が進んでいるが、新型コロナによる需要の弱さが見られる。
鈴鹿 9 - 3	鈴鹿市 安塚町字源平塚1350番208外		34,100	34,100	33,900	0.0	△ 0.6	8	9	中小規模の工場のほかに住宅も見られる市中心部に近い内陸型の工業地域で、需要は安定していたが、新型コロナの影響で弱含んでいる。
鈴鹿 9 - 2	鈴鹿市 南玉垣町字玉垣6350番外		17,400	17,400	17,300	0.0	△ 0.6	8	10	大規模工場の周辺に小規模工場が集まる自動車交通網が優れる内陸型の工業地域で、労働力の確保が容易であることから、需要は底堅い。

(注) 同じ変動率で順位が異なるのは、小数点第2位以下の四捨五入によるものです。

地価調査の基準地と同一地点である標準地一覧

標準地番号	所在並びに地番	住居表示	平成31年 地価公示 価格 (円/㎡)	令和元年 地価調査 価格 (円/㎡)	令和2年 地価公示 価格 (円/㎡)	令和2年 地価調査 価格 (円/㎡)	令和3年 地価公示 価格 (円/㎡)	令和3年 地価公示 対前年変 動率(%)	31年1月 ～元年7 月変動 率(%)	元年7月 ～2年1 月変動 率(%)	2年1月 ～2年7 月変動 率(%)	2年7月 ～3年1 月変動 率(%)
津 -1 (-16)	津市 観音寺町字大谷766番33		85,500	85,800	86,100	86,100	86,100	0.0	0.4	0.3	0.0	0.0
津 -3 (-15)	津市 白塚町字白池1番135		40,700	40,200	39,700	39,100	38,600	△ 2.8	△ 1.2	△ 1.2	△ 1.5	△ 1.3
津 -6 (-2)	津市 南が丘3丁目10番12		71,300	71,900	72,700	72,700	72,700	0.0	0.8	1.1	0.0	0.0
津 -26 (-18)	津市 久居持川町字持川2347番5		44,200	44,200	44,200	44,100	44,000	△ 0.5	0.0	0.0	△ 0.2	△ 0.2
津 5-5 (5-9)	津市 丸之内429番外	丸之内32-18	118,000	118,000	118,000	117,000	116,000	△ 1.7	0.0	0.0	△ 0.8	△ 0.9
津 5-9 (5-3)	津市 丸之内152番	丸之内18-15	86,800	86,800	86,800	86,400	86,200	△ 0.7	0.0	0.0	△ 0.5	△ 0.2
四日市 -5 (-18)	四日市市 堀木2丁目331番	堀木2-14-2	70,800	71,300	71,900	71,900	71,900	0.0	0.7	0.8	0.0	0.0
四日市 -19 (-14)	四日市市 大字茂福字坪ノ内126番1		62,900	63,200	63,600	63,600	63,600	0.0	0.5	0.6	0.0	0.0
四日市 -32 (-17)	四日市市 采女町字松ノ木1607番10		39,100	39,000	39,000	38,900	38,800	△ 0.5	△ 0.3	0.0	△ 0.3	△ 0.3
四日市 -46 (-1)	四日市市 桜花台1丁目24番4		46,200	46,200	46,300	46,200	46,200	△ 0.2	0.0	0.2	△ 0.2	0.0
四日市 5-9 (5-12)	四日市市 富田1丁目159番	富田1-25-13	75,000	75,400	76,000	76,000	75,800	△ 0.3	0.5	0.8	0.0	△ 0.3
四日市 5-11 (5-13)	四日市市 諏訪町84番1	諏訪町6-7	90,500	91,500	92,500	92,000	91,400	△ 1.2	1.1	1.1	△ 0.5	△ 0.7
伊勢 -2 (-3)	伊勢市 古市町字西裏12番3		44,600	44,200	44,000	43,600	43,400	△ 1.4	△ 0.9	△ 0.5	△ 0.9	△ 0.5
松阪 -6 (-2)	松阪市 殿町1291番1		66,700	66,500	66,400	66,300	66,200	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2
松阪 -15 (-12)	松阪市 光町24番3		37,800	37,600	37,500	37,100	37,000	△ 1.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 1.1	△ 0.3
松阪 5-4 (5-4)	松阪市 京町1区13番4		91,400	91,400	91,400	91,100	90,900	△ 0.5	0.0	0.0	△ 0.3	△ 0.2
桑名 -6 (-12)	桑名市 中山町87番外		52,700	52,700	52,800	52,700	52,600	△ 0.4	0.0	0.2	△ 0.2	△ 0.2
桑名 -10 (-13)	桑名市 矢田積97番		77,800	77,900	78,100	78,100	78,100	0.0	0.1	0.3	0.0	0.0
桑名 -11 (-2)	桑名市 長島町又木字熊沢85番30		45,700	45,200	44,700	44,100	43,500	△ 2.7	△ 1.1	△ 1.1	△ 1.3	△ 1.4
桑名 5-3 (5-4)	桑名市 八間通4番10外		95,900	96,000	96,300	96,000	95,500	△ 0.8	0.1	0.3	△ 0.3	△ 0.5
鈴鹿 -7 (-8)	鈴鹿市 白子3丁目3908番4	白子3-20-7	41,400	41,400	41,400	41,300	41,200	△ 0.5	0.0	0.0	△ 0.2	△ 0.2
鈴鹿 -17 (-7)	鈴鹿市 岸岡町字雲雀山2707番145		40,200	40,000	40,000	39,800	39,600	△ 1.0	△ 0.5	0.0	△ 0.5	△ 0.5
鈴鹿 -27 (-9)	鈴鹿市 稻生こがね園3300番23	稻生こがね園5-3	41,600	41,700	41,800	41,700	41,700	△ 0.2	0.2	0.2	△ 0.2	0.0
鈴鹿 5-4 (5-4)	鈴鹿市 南江島町125番外	南江島町24-8	65,700	65,700	65,700	65,500	65,300	△ 0.6	0.0	0.0	△ 0.3	△ 0.3
名張 -3 (-7)	名張市 桔梗が丘3番町4街区6番		44,100	43,900	43,700	43,300	42,800	△ 2.1	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.9	△ 1.2
尾鷲 -1 (-2)	尾鷲市 小川東町722番9	小川東町20-8	23,300	23,000	22,700	22,200	21,900	△ 3.5	△ 1.3	△ 1.3	△ 2.2	△ 1.4
伊賀 -1 (-4)	伊賀市 上野丸之内131番3		44,800	44,100	43,800	42,900	42,600	△ 2.7	△ 1.6	△ 0.7	△ 2.1	△ 0.7
伊賀 5-1 (5-2)	伊賀市 上野東町2968番		52,400	51,600	51,000	50,000	49,500	△ 2.9	△ 1.5	△ 1.2	△ 2.0	△ 1.0

※ 標準地番号下段の( )は、令和2年地価調査の基準地番号。